佐賀県
https://www.pref.saga.lg.jp/

みんなで読もう　オススメ本

佐賀県立図書館
こころざしの森から

株式会社ミズ 溝上 泰興 代表取締役の

オススメ本！ 第9回

このコーナーでは、
県内の著名人がおすすめする児童書の魅力を、
直筆の推薦文とともに
紹介します。

おまえうまそうだな

「おまえうまそうだな」というティラノサウルスと、
自分の名前をウマソウという恐竜をお父さんと
勘違いする赤ちゃんアンキロサウルスの物語
一人で生き抜く力を教える姿や、愛するがゆえの
最後の決断からは、親として子供への向き合い方を
深く考えさせられました。
ラストシーンは…涙

『おまえ　うまそうだな』
作・絵/ 宮西達也
ポプラ社

大きなおそろしいティラノサウルスにであったうまれたてのあかちゃんきょうりゅうは、ティラノサウルスをパパだと思いこんでしまいます。「パパ！」とよばれてついパパになりきってしまう大きなきょうりゅう。大きなきょうりゅうのとまどうすがたがおもしろく、あかちゃんきょうりゅうの純粋さがかわいい絵本です。

このあと どうしちゃおう

死んだおじいちゃんの部屋から出てきたノートを孫のぼくが
発見したことで、明るく前向きに死ぬことを準備していたことを
ぼくは知ります。
ユーモアたっぷりに描かれる「てんごく」「じごく」は、
まるで遊園地のようでワクワクします!!
死ぬことを通して「今を精一杯生きよう!!」と
大切なことを教えてくれた一冊です。

『このあと どうしちゃおう』
著/ ヨシタケシンスケ
ブロンズ新社

しんだおじいちゃんがかいた「このあと どうしちゃおう」ノートがでてきた。「じぶんが しょうらい しんだら どうなりたいか」が、かいてある。「うまれかわったらなりたいもの」「こんなかみさまにいてほしい」…… なんだかおじいちゃん、たのしそう。でも、もしかしたらぎゃくだったのかもしれない。ぼくだったら、どうしちゃおうかな。いま、いきているあいだに、かんがえてみよう！

ちびゴリラのちびちび

高いところからいつも助けてくれるキリン、
大きな鳴き声で喜ばせてくれるライオン、
ゴリラの仲間達だけではなくて、多様な動物達が
愛情たっぷりにちびちびと可愛がって育っていきます。
描かれる動物達の表情がなんとも穏やかで、
子供も大人も優しい気持ちになれる一冊です。

『ちびゴリラのちびちび』
作/ ルース・ボーンスタイン
訳/ いわたみみ
ほるぷ出版

ゴリラ一家にちびゴリラ誕生。お母さんお父さん、おばあさんおじいさんに愛されるちびゴリラを、ジャングルに住む動物たちみんなも大好きで、あれやこれやと優しく愉快に交流します。そして、ちびゴリラはぐんぐん大きくなって誕生日を迎えます。新しい生命の誕生を謳歌するロングセラー絵本。

溝上さんってどんな人？

1980年佐賀市生まれ。薬剤師の資格を持っています。2007年に県内外で薬局等を運営する株式会社ミズに入社し、2016年から代表取締役を務めています。子どもの頃は「エルマーのぼうけん」や星新一さんの本をよく読んでいました。現在、5歳と2歳の2人の息子を子育て中です。最近は子どもとバスケットボールを一緒にしたり、観戦するのにハマっています。

佐賀県立図書館「こころざしの森」では、このコーナーで紹介した児童書と推薦文を展示しています！

［問い合わせ先］　佐賀県立図書館　電話 0952-24-2900　FAX 0952-25-7049

※「こころざしの森」の「森」の字は、3つの本で構成した創作漢字です。